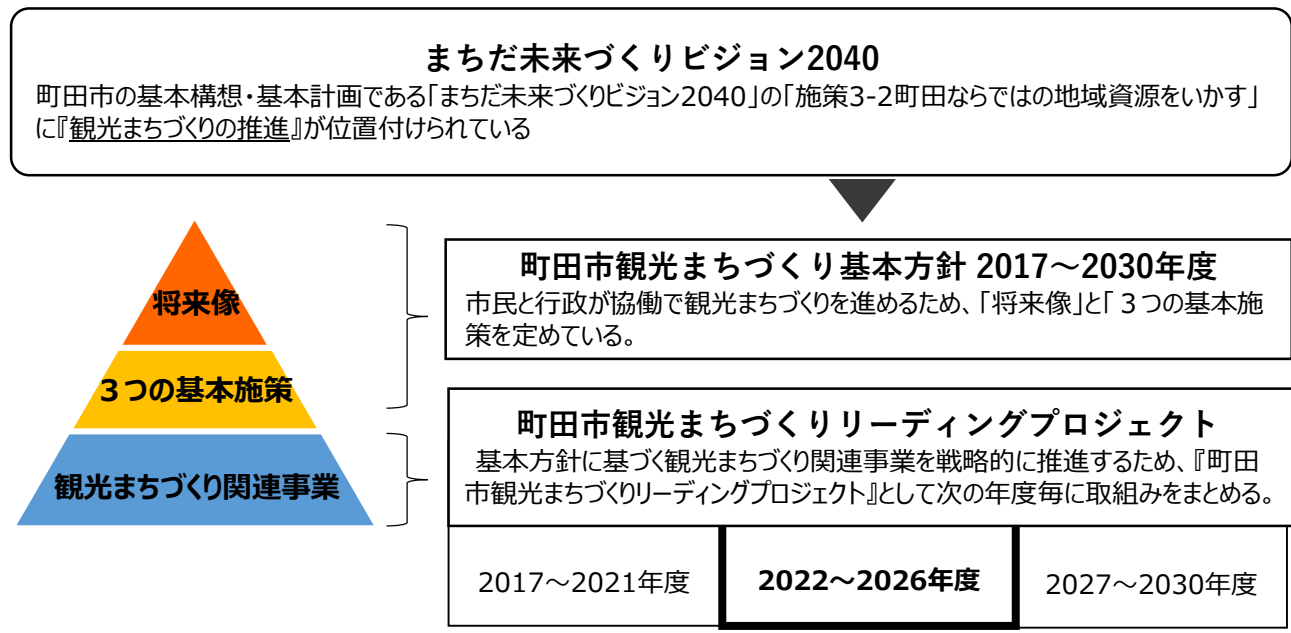


I. リーディングプロジェクトの位置づけ



II. リーディングプロジェクト（2017～2021年度）の成果

①主な取り組み

基本施策1
町田ならではの地域素材の洗い出し・磨き上げ

・桜の植樹、桜守の会設立（〇ごと大作戦）支援
・町田ゆかりの作家に注目した新たなツアーの実施
・多摩市、稲城市と連携し、各市の魅力を活かした広域連携プロジェクトの展開

基本施策2
観光まちづくりの担い手と態勢づくり

・シンポジウムの開催による観光気運の醸成
・大学と連携した四季彩の杜PR
・観光案内所に多言語対応の観光案内機器の導入

基本施策3
地域素材が持つ魅力の伝達と交流の拡大

・外国人向けFacebookでの情報発信
・人気TV番組等のロケ支援
・薬師池公園四季彩の杜プロモーションサイトの立ち上げ

②成果指標

指標	策定時(2017)	目標(2021)	実績(2021)	達成状況
延べ宿泊者数	337,699人	345,000人	236,459人	未達成
観光消費額	4,038円	4,500円	5,452円*	達成
観光入込客数	5,013,269人	5,700,000人	5,735,010人	達成
観光満足度	60.9%	70.0%	59.3%*	未達成
リピーター率	86.7%	現状維持	80.0%*	未達成

*：参考値

III. 観光まちづくりの現状と課題

＜新型コロナウイルス感染症による影響＞

① 町田市の観光入込客数の増加

・ 2020年の 観光地点での観光客数は、574万人（前年比+209万人）
・ 公園の需要増（薬師池公園は過去5年間で最高の来園者数）

② 生活様式の変化

・ 3密の回避や人との接触を減らす行動の浸透

③ 市内の宿泊者の減少

・ 2020年の市内の延べ宿泊者は236,459人（前年比-42%）
（参考：県内宿泊者-30% 県外宿泊者-38% 訪日外国人宿泊者-91%）

④ 訪日外客数は、この1年はほぼゼロに

・ 2020年の訪日外国人数は412万人（前年比-87.1%）。このうち394万人は3月までの来訪。
・ コロナ禍以前の水準までの回復は、2024年以降との見通し

＜町田市の観光に関する意識調査（Web調査）＞ 2021年11月実施

対象者：東京都、神奈川県在住の20～60歳代 計500人

■ 町田市と聞いて思い浮かぶこと

○ 観光の要素

リス園、ショッピング（町田駅周辺、グランベリーパーク、古着）、飲食（ラーメン）

○ 市の印象

Good：活気ある栄えたまち、住みやすい便利なまち
Bad：治安が良くないイメージ

■ 訪れたことがある観光スポット、イベント

グランベリーパーク、リス園、芹ヶ谷公園、スヌーピーミュージアム、国際版画美術館
→ 来訪目的：ショッピング（68.7%、20代は75.0%）

■ お出かけ先として町田市に興味があるか

興味がある （35.4%）〔来訪歴あり：49.3%、来訪歴なし：14.5%〕

↓ 町田市の観光情報を提供（町田駅前、薬師池、南町田、小野路、鶴川）

興味を持った（59.8%）〔来訪歴あり：69.3%、来訪歴なし：45.5%〕

来訪したい （59.4%）〔来訪歴あり：71.3%、来訪歴なし：41.5%〕

まとめ

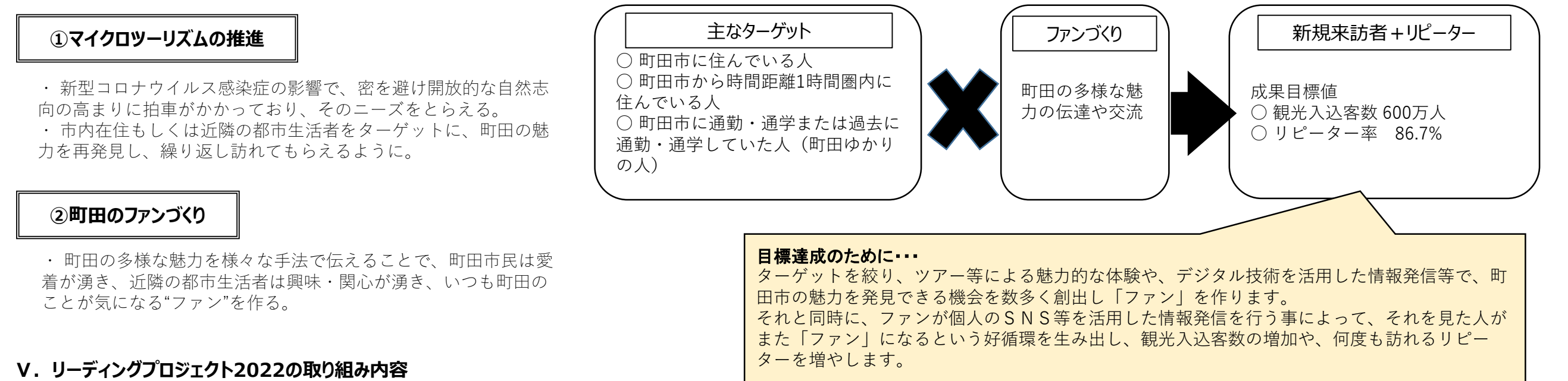
- ・ 生活様式の変化により、3密を避けられる公園等の人気が高まっている。
- ・ 遠方からの来訪は減少。
- ・ 町田市はショッピングや飲食のイメージはあるが、花やみどりを楽しめるスポット（薬師池、小野路など）があることは認知されていない。
- ・ 町田市の観光資源を、効果的に発信できていない。

-1-



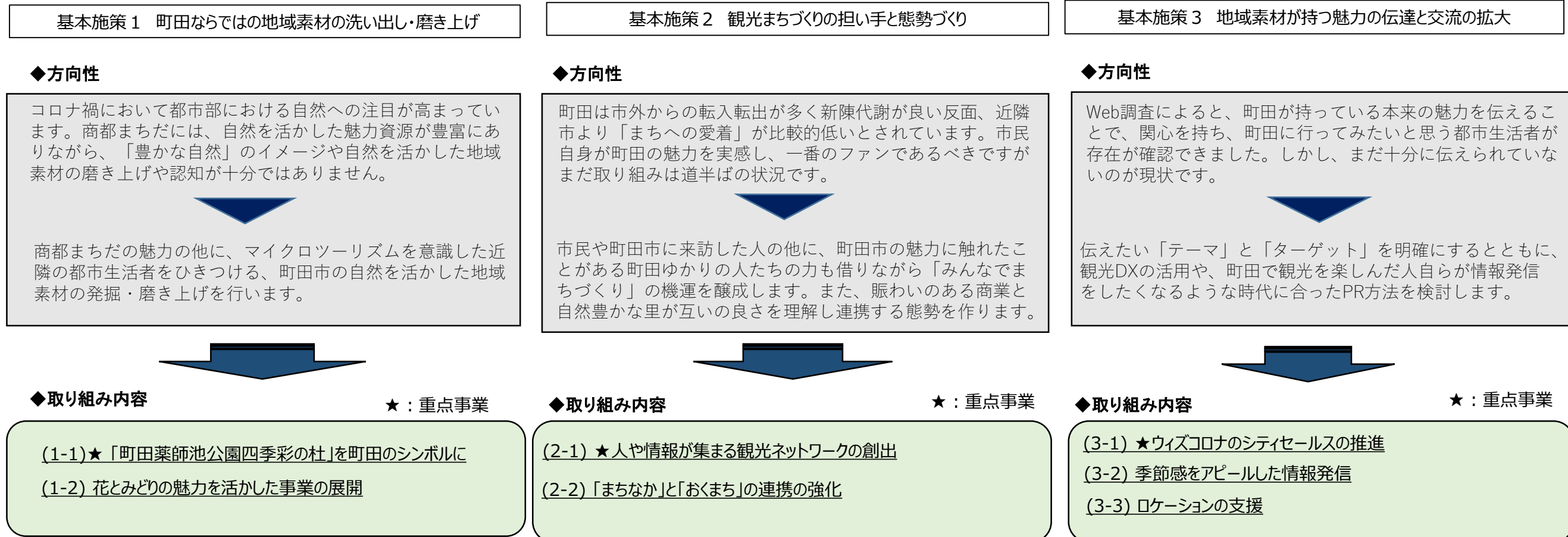
Ⅳ. リーディングプロジェクト2022の目標

コロナ禍を経て、観光をめぐる状況や人々の意識が変化する中で2022～2026年度のコンセプトを次の2つとし、成果目標値に向けて観光施策を展開します。



Ⅴ. リーディングプロジェクト2022の取り組み内容

Ⅳのコンセプトを踏まえ、2017年5月に策定した「町田市観光まちづくり基本方針」に掲げた以下の3つの基本施策に基づき本リーディングプロジェクトの取り組み内容を定めます。



「町田市観光まちづくりリーディングプロジェクト2022～ウィズコロナ戦略～」

1－1 「町田薬師池公園四季彩の杜」を町田のシンボルに

重点

町田市の魅力的な観光拠点のひとつである「町田薬師池公園四季彩の杜」を更に磨き上げます。

- 四季彩の杜全体の連携や調和を図った一体的なコーディネートにより更なる魅力向上を図る
- 既存イベントに新たなコンテンツを追加し付加価値を創出
- 中長期的な視点でブランディングを行い、何度でも訪れたくなる魅力の創出

【スケジュール(年度)】				
2022	2023	2024	2025	2026
おもてなし事業の実施、情報発信強化				
四季彩の杜計画策定	計画の推進			

1－2 花とみどりの魅力を活かした事業の展開

市民にとって大切な資産である桜に加え、町田を彩る花やみどりを魅力ある地域資源へと発展させます。

- ウィズコロナの時代に即した、地域が主催するさくらまつりの支援
- うめ、さくら、ばたん、バラ、ハス、紅葉など、花やみどりを活用した季節ごとの魅力創出
- フットパスの振興で地元の魅力を再発見

【スケジュール(年度)】				
2022	2023	2024	2025	2026
桜まつりの支援・花めぐり案内実施				
フットパスの振興（イベントの開催）				

2－1 人や情報が集まる観光ネットワークの創出

重点

まちだの良い魅力に気づいたり、町田に関心を寄せる人の増加を目指し、そのための機会をつくれます。

- 市内のイベント情報などを集約して発信するポータル構築
- 四季彩の杜を題材にしたWSの開催や、町田かるたを使った大会の開催など、町田のファンを増やすイベントの実施

【スケジュール(年度)】				
2022	2023	2024	2025	2026
カルタ大会の開催				
四季彩の杜エリア情報集約・発信			市全体の情報集約・発信	

2－2 「まちなか」と「おくまち」の連携の強化

まちなかの情報とおくまち（里山など、中心市街地から離れた町田の自然豊かなエリア）の情報が双方でわかるような連携の仕組みづくりをします。

- 町田駅周辺施設での「おくまち」の紹介
- 小野路宿里山交流館での、町田駅周辺の飲食店などの紹介

【スケジュール(年度)】				
2022	2023	2024	2025	2026
町田駅周辺でのおくまちセールス				
「おくまち」での飲食店・名産品の紹介				

3－1 ウィズコロナのシティセールスの推進

重点

デジタル技術を活用した新しい観光プロモーションを展開します。

- デジタルスタンプラリーの実施、観光コンテンツのデジタル化、AIチャットボットの導入など

【スケジュール(年度)】				
2022	2023	2024	2025	2026
デジタルスタンプラリーの実施		観光コンテンツのデジタル化		AIチャットボットの導入

3－2 季節感をアピールした情報発信

都市と自然を併せ持つ町田の魅力を、季節を感じられるプロモーションというテーマを掲げて発信します。

- 四季ごとの観光プロモーションの展開、WEB媒体へのニュースレターの配信

【スケジュール(年度)】				
2022	2023	2024	2025	2026
季節ごとのシティセールスの実施				

3－3 ロケーションの支援

映画やテレビドラマのロケーション受け入れを支援するほか、情報番組等へ情報提供し、町田市での撮影を促します。

- ロケーション受け入れ態勢の整備、情報番組等への情報提供

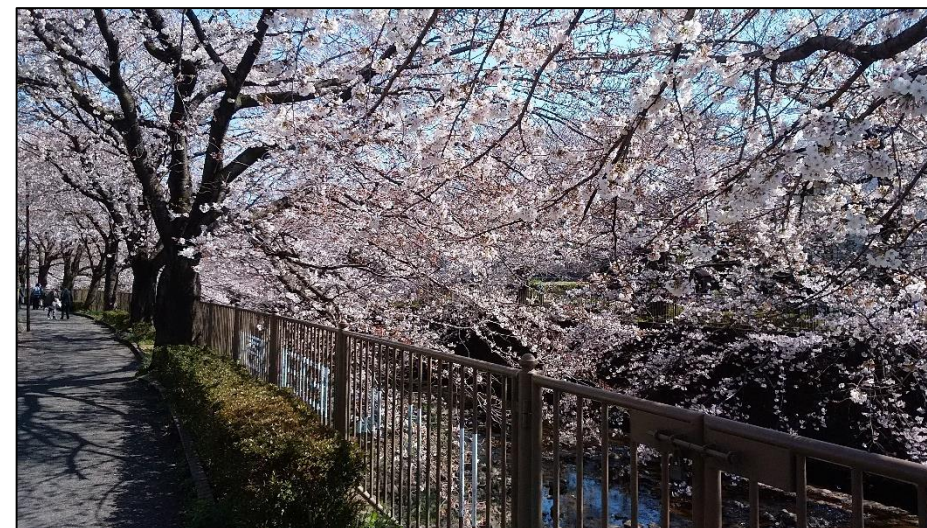
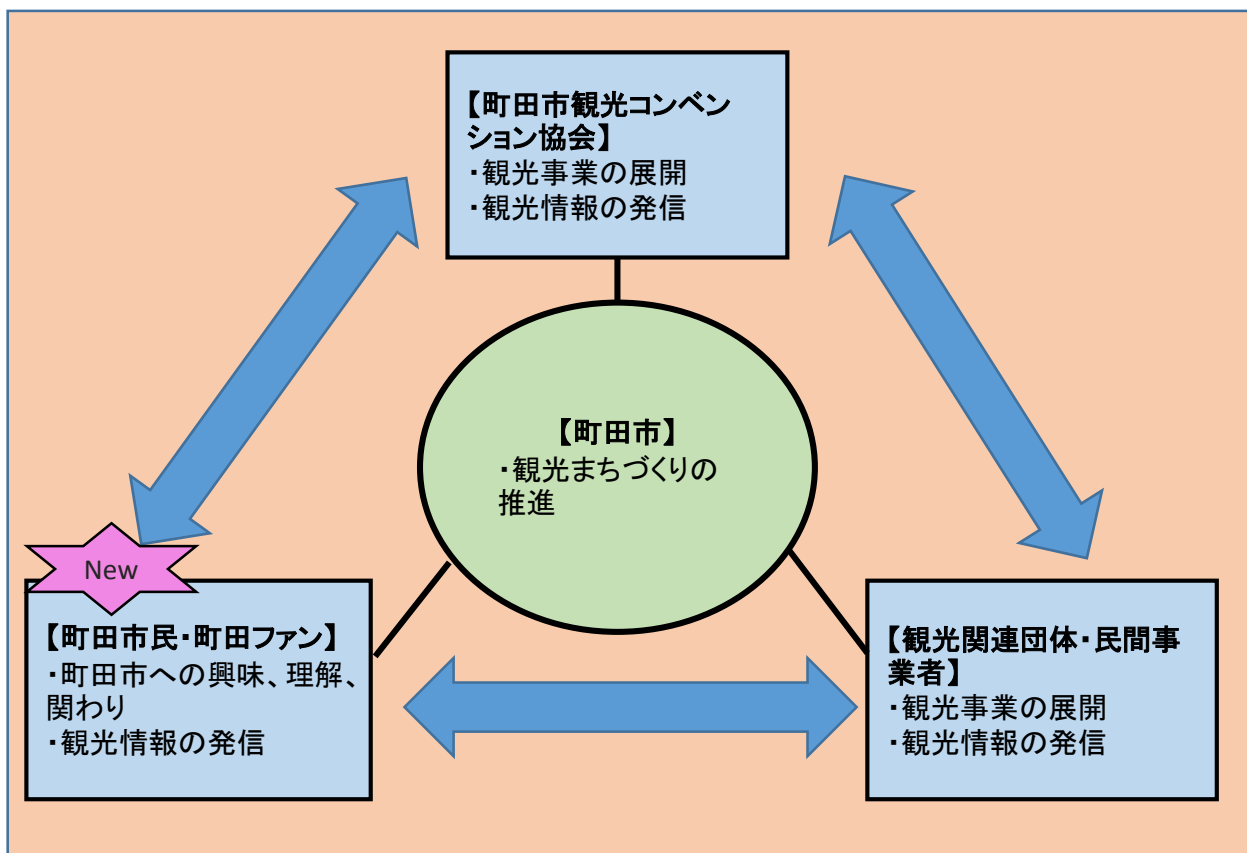
【スケジュール(年度)】				
2022	2023	2024	2025	2026
ロケーション受け入れの支援				
情報番組等のロケの誘致				



Ⅵ 町田市観光まちづくりリーディングプロジェクト2022～ウィズコロナ戦略～ 推進体制

本リーディングプロジェクトの推進にあたり、これまで協力体制を構築してきた「町田市観光コンベンション協会」と「観光関連団体・民間事業者」に並ぶ重要な役割として「町田市民・町田ファン」を新たに設置し、推進体制を構築していきます。

町田市は3者の中心となり、それぞれの立場や役割に応じた参加ができるよう協力体制の構築やかじ取りを行います。



コラム ファンづくり

市では、2018年から2021年まで、市民等が自らやってみたい夢の実現に向けた支援を行う「まちだ〇ごと大作戦」を実施し、地域の結びつきを強めながら多くの夢が実現したこの事業には、約300のエントリーがあり、参加人数はWeb参加を含めて200万人に上りました。

観光関連でも、桜の植樹や町田かるたの製作等、様々な夢が実現し、その中で生まれた交流や人と人とのつながりは、今後のまちだのファンづくりに欠かせないものとなっています。

町田市経済観光部
観光まちづくり課
町田市森野2-2-22
042-724-2128
2022年3月策定